

# “X-formation”のチカラ。

トランスフォーメーション

— 変革するケンセツ —



大阪・関西万博まであと1年半を迎えた今、  
 社会は、デジタル化の進展がもたらす企業変革(DX:デジタルトランスフォーメーション)の時代に入っています。  
 そして建設業界も同じく、効率的省人化による生産性向上を目指したデジタル化や、  
 働き方の改革を目的とした変革(X-formation)が求められてきています。  
 大幅増ページでお届けするしびる40周年記念号では、  
 「X-formationのチカラ。—変革するケンセツ—」をテーマに特別企画ページを設け、  
 「建設DX」の社会背景・目的・事例・未来展望などを、様々な観点から伝えていきます。  
 建設業はこれからどのように変化し進化を遂げていくのか。  
 しびる40号からヒントを読み取っていただければと思います。

建設中の大阪・関西万博会場(2023年9月19日撮影) 撮影:株式会社 伸和 提供:株式会社 大林組



一般社団法人 日本建設業連合会 関西支部  
支部長 **北岡 隆司**

建設産業は、日本の国際競争力を確保するためのインフラ整備や施設の維持管理を通じて、我が国の社会・経済活動を支えています。また、近年は、各地で自然災害が多発しており、今後も激甚化・頻発化が予想されている中、災害時には最前線で道路啓開、応急復旧、復興と、地域社会の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」としての社会的使命も担っています。しかしながら、担い手確保、来年度からの時間外労働の上限規制、コロナ禍による行動制限、昨年2月からのウクライナ危機で加速した資機材の価格高騰や入手困難など、短期・長期的に建設業の諸課題は山積しています。建設業が基幹産業として、その使命を継続的に果たしていくためには、より魅力的な業界を目指して変革していく必要があります。今回、「広報誌しびる」は第40号の記念号として、建設DXを中心としたテーマで作成し、変化し続ける今の建設業とこれからの新しい魅力的な建設業をお伝えします。この業界に携わる皆様だけでなく、これから建設を志す皆様にも是非お読みいただければと思います。

## CONTENTS

- 巻頭対談 / 近畿の未来 ————— 3  
DXと多様性が牽引する“シン・建設の時代”  
**建山和由氏×毛利聡子氏**
- DX建設最先端 ————— 7  
先進事例 ①  
**3領域でDXを推進**  
先進事例 ②  
**遠隔現場管理システム**
- スペシャル座談会 ————— 11  
現役第一線の6名が語り尽くす  
**この10年・次の10年**

- レポート・最前線 ————— 17  
阪神高速14号松原線・喜連瓜破橋大規模更新工事  
**交差点の直上で橋梁を解体し、架け替える**
- 未来へのとびら ————— 21  
建築エンジニア **喜安 良さん**  
土木エンジニア **杉谷 紗理さん・山本 華穂さん**
- 偉人たちの歴史街道 ————— 23  
大和川付け替えと中甚兵衛  
**近世・大治水工事の軌跡**
- しびる Walker ————— 27  
**冒険! 「水」と「エネルギー」淡路島**

- ランドマーク ————— 31  
開設100周年に向けて夢と感動を届ける施設に一新  
**センテニアル・パーク京都競馬場**
- トピックス ————— 33  
関西支部 NEWS  
**「社会資本整備の重要性に関するシンポジウム」を開催**